

100

大告運動 6・9報告集会
戦争準備 許さなぬ!

第15期沖繩意見広告運動が6月2日、琉球新報、沖縄タイムズ、朝日新聞の3紙に2ページ抜き抜きの全面広告を掲載。6月9日に東京の日本教育会館にて報告集会を開催した。当日は、東北、関東各地、静岡、大阪など関西方面からも駆けつけた参加者で会場は満杯となり、オンラインで全国の視聴者ともつながり、熱気ある集会となった。

集会は、上原公さん（元国立市長・全国世話人）の司会で、土屋源太郎さん（伊達判決を生かす会共同代表、全国世話人）の「1期節目の年の広告を表現させた全国の賛同者へのお礼」の開会挨拶で始まった。次に、事務局長の生田あいさんから「第15期の活動報告」がなされた。その報告は、1つは、15年の節目となる広告の主たるテーマが①辺野古新基地建設の強行のために国が沖縄県知事の自治権を奪って行った「代執行の暴挙への抗議」②崖田政権のアメリカ力での対中戦争の最前線を担ったための沖縄・南西諸島の軍事拠点化、本土で進む戦争準備に対して「沖縄を、本土を戦場にさせない」③沖縄に米軍基地の犠牲を押し付ける「この国のあり方」、その日本のあり方を考えを飲むように受け入れている本土の私たちのあり方を問うもので、それを「他人事ではない。オウ

キナワは自分ごとと訴えたこと。2つには、第15期広告の賛同を上回る1万5813件であったがそれにとどまらず、例年にならず、賛同の電話や問い合わせが続いていること。3つには、そうした中、こととして、茶色の紙「ファムテープ」で作った封筒に「月切手や10円、その中にチラシで1000円を包んで送られた賛同者の話を会場の見せながら報告された。沖縄憲法広告運動が15年間にわたって続いた全国の賛同者お一人おひとりの沖縄への思いであることが強調された。沖縄を戦場にする戦争を止めるな」と呼びかけられた。その後、沖縄現地からの報告、特別ゲスト池澤野和興さん、農業ジャーナリスト・全国世話人から15年の記録集の発行などの呼びかけがなされた。

●紙面の都合上、沖縄現地と一つの報告、池澤夏樹さんの講演の概要を紹介する。

※注 集会の動画はホームページでご覧になれます。↓↓↓



か語られています。
日中平和友好条約を反故
にして来園の身に迫るに
安原3文書の取り組みは
亡國の取り組みだと言っ
ても決して過言ではありま
せん。
この事が見えるのが沖繩
の状況です。これなく、全
に欺かっています。
昨年この意見広告で

は、全国300の自衛隊基地がいわゆる弾薬を積み増し、そしてまた装備を増やし、戦争に足る状況、常時のエ警戒でも戦争が出来る状況、それを準備してにいてゐるというの事実を明らかにしました。

そういう構図が着々と進んでいます。私たちはそれらを止めなければいけません。

**諦めないこと
沖縄の未来を**

中堀・ヘリ基

ん
やはり止めるためには
政権を交える必要があつた
と思います。
岸田首相はあゝまゝ米空
に追従して行くという事
先日の訪米でも明らかに
しました。
しかしその後何が残
のでしょうか。私たちの
本が一体どうなつてい

てゐるのか。
沖繩にいとこの事を
つち口頃から感じてい
す。
どうか多くの国民の皆
んが沖繩の状況を見て、
ま全国で進んでいるこ
うな状況に対して、どの
うな対応をするべきかと
う事を一緒に考えて行き
しょう。

沖縄からの報告①



米國に隷従の「安保3文書」——日本を
戦争に引き込む亡国政策、断固阻止
参議院議員・沖繩意見広告全国世話人 伊波洋一

島への配備を打ち出しては、敵基地攻撃ミサイルは射程1000〜2000 km の大陸内部にもどくものです。然、他国にとっては攻撃される脅威を与えるものです。

与那国島や石垣島など八重山諸島と宮古島諸島など、2007年の中国による台湾進攻を懸起する事が考えられます。

九州から南西諸島各地に、新たに22の自衛隊の部隊が配備されました。敵基地攻撃ミサイルが配備される事は多くの県民にとって、再び沖縄が戦場とされるという不安を持つようになり、2023年には全住民を避難させて先島

自衛隊基地建設の6年計画が終了する直前の2022年12月16日に岸田内閣の「安保3文書の改定」で、5年間43兆円の防衛費の閣議決定が行なわれ、沖縄の島々での更なる基地建設と、あらたな敵基地攻撃ミサイル配備が行なわれる事が明らかになりました。

現在の岸田政権が南西諸島を通過して何度もミサイル配備に反対する集会や、デモ行進が開催され、沖縄のミサイル配備とは全く、近隣国との対話外交を通して平和への道を強く求めるようになりました。

しかし岸田政権は2023年度防衛予算で、安保3文書に基づいて5年間43兆円の軍拡計画をスタートさせ、地域で日米が2022年に決定をした日米共同作戦の戦争遂行を計画通りに行なおうとしていると考えられます。

どうして2027年なのか、2021年3月に来いランド太平洋軍司令官が、米上院軍事委員会では6年以内の中国による台湾への軍事侵攻の恐れについて証言を

米国での政権交代や、日本・フィリピン・韓国への政権交代のために、台湾海峡を緊張させるものになっています。

一方の当事者である中国は「一

代執行、戦争準備計画が)

戦後で東洋に生きた人々の生活のありかたを
見るのは、私たちが!

■主催 ■共産党運動 ■共産党 運動会場



いのです。
おそろく5年遅れるのでは
ないかなというぐらい丁
事は遅れています。
私たちが抵抗をしている
一つの趣旨には、そこに軟
弱地盤があるという事であ
す。軟弱地盤がある事は地
質学者も認めているので
す。政府も認めているわけ
です。

一言も出さないうちに進めど。

それがどうもおかしなと、地元の人たちはちゃんと動きを見ていたので、結局、地元の人たちの反対で、これは防衛大臣が三動では作りません」という事で、県内のどこかで探うとしているわけです。

この様に自衛隊も補強されていますが、私がこ

いこととして、2万人の縄県民が亡くなっているに、「善戦」という言葉で衛隊の幹部連中が研修の使っているわけです。かにか今、マスコミを含め国民一人ひとりが弱くなっているか、ここを私は強したいのです。

が、皆さんも憲法をもつて度読み直し、今の自公政あるいは維新の会を交えた、10年後に領収書を「開」なんていうザル法、なものの日常的に考えられますか。本当に腹が疼ちます。皆さん、これが日本の意が、民主主義そのものの崩れて、戦争への道へとむくことに繋がる、今がち

紀元から米国の覇権の維持のため、米国の秩序の維持のために日本国土を戦場にして、日本列島および南西諸島、台湾、フィリピンへとつながる第一列島戦を死守する事が、どれほどの日本の国益につながるのかという事である。

安保3文書では「戦争を出来る国になる」事が高らかに叫ばれている。

この前にも平和を愛する者から集まった組合関係者の皆さんが座り込みをしてくれましたから、400名も集まったらさすがに機動隊も手を出せない。

理立てはほとんど進められていません。本部の方からと街頭方面からの上砂を毎日10カントラックが2500トンくらいで運んでいます。でも工事はおかまに進まな

うるま市ですが、旧石山のところにゴルフ跡地があるのです。それを日本政府は購入して自衛隊の射撃場にする。

うるま市議会にもそれら県にも、そういう計画は

のようになっていて、だから諦めないで粘り強く、沖繩では闘いが進められているのです。

もちろんその背景には沖縄戦という悲劇があります。私の祖父も沖縄戦で亡くなっています。

ところが最近、自衛隊が文書の中で「沖縄戦は『善い』と。善戦とは『善い』意味が善い戦いだった」といふ。10万人の

を包囲する民衆の闘い、民衆の激起というのが必要なのですが、その兆しすらいのは、民意が落ちていくからです。

私たちは沖縄の未来を自己決定権、これで作っていく。当然、沖縄の歴史と日本の歴史には違いがありますが、私たちは自己決定権と民意を骨髄的に走らま

今年になってアト前
の降り込みは暫く回から3
回多し時は40、50まで

縄では狭いところに飛行場
やヘリ基地があります。オ
スプレイという穴陥機が、
今でも民家の上空を飛んで
いるのです。沖縄の人間の

含めても、そういう事があつたでしょうか、市民の力で新たな軍事基地を作らせなかったというのが、最近、沖縄で現実のものになって、来す。

るというのは。
沖繩からみれば日本全土の民意が落ちています。
本当なら、国会に安倍内閣の裏金の問題、国会で今の見別去が「ナシ」去らねばならぬ。

沖繩からの報告②

諦めないことだ
沖縄の未来を、
沖縄・へり基地

勝利する展望が
自己決定権で作
反対協議会顧問

り上げていく。

かに語られています。
日中平和友好条約を反故
にして米国の身に従従する
安藤3文書の取り組みは、
左翼の取り組みで、と言っ
ても決して過言ではありま
せん。
この事が見えるのが沖縄
の状況です。これが、全国
に拡がっています。
昨年このこの懸念広告で

は、全国300の自衛隊基
地がいわゆる弾薬を積み増
し、そしてまた装備を増や
し、戦争が出来た状況。常
にどのエリアでも戦争が出来
る状況、それを準備してい
る、というのが事実を明らかに
しました。

そういう構図が着々と進
んでいます。私たちはそれ
を止めなければいけません

ん。
やはり止めるためには、
政権を交える必要があると
思いました。
岸田首相はあくまで米國
に追従して行くという事を
先日の訪米でも明らかにし
ました。
しかしその後には何が残る
のでしょうか。私たちの目
木が一体どこへ行くことし

ているのか。
沖繩にいてその事をい
つも日頃から感じていま
す。
どうか多くの国民の皆さんが沖繩の状況を見て、いま全国で進んでいるこのような状況に対して、どのような対応をするべきかという事を一緒に考えて行きましょう。

は 鹿が氏 - まんがえ福



大脇雅子弁護士と著書「武力によらない平和を生きる」

「平和に生きる生存権の確立を目指して—日本国憲法をグローバル・コモンズに—」

3月3日大阪労働学校 コモンズ公開討論会
＜第2回＞ 大脇雅子 弁護士

人権としての〈平和的生存権〉運動こそ非暴力闘争と結び、世界の戦争を抑止する

■大阪労働学校アソシエイトより：大脇さんの今回重要ポイントは、占領軍の策定した日本国憲法を受容するのではなく日本の民衆が明治近代以降、帝国日本の国家に對抗しつつ非暴力抵抗の運動の歴史を紡いだそれら成果として、いわば憲法を民衆の手に奪い返しているところにある。前回バスターリッチさんの「米国憲法を、日本国憲法をモデルにして民衆の手に取り戻す論考」これら2つの動きが重要なところ、新しい日米関係を生まれ、それらは東アジアの民衆運動となつて、まさに沖縄の民衆運動こそその結節点となる」と、極めて重要な視座が今回の労働学校シンポジウムから提起されたことを誇りとした。

65年の弁護士生活のうち12年間参院議員として活動し、去年出版した「武力によらない平和を生きる」非暴力抵抗と平和的生存権の6面参照を中心にお話したい。

憲法のできた1946年というのは終戦直前で、天皇制を中心とした軍国主義という拡張性が席巻していたが、昔からの平和思想の根底的な理念を受け継いだ形で、アメリカのインシアティブで憲法ができた。戦力や交戦権を持たないという画期的だが、日本社会は思想的にはまだ拡張性や天皇制、憲法ができてすぐ自衛隊が確定するという矛盾を抱えながらも平和を求める国民に浸透し人権概念に引き継いでいった。

日本国憲法には「我々は世界の国民が等しく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」と明確に規定がある。

（略）第3章の基本的な人権の各条文では「強制労働の禁止、生命の自由と幸福の追求権」というものを様々な保障し、そのいくつかの裁判を経て憲法全体の平和主義の精神から紡ぎ出されてきた。

（略）2016年国連総会で「平和の権利宣言」というものを採択し、こんな平和的生存権の日本のみならず世界の潮流というものは今理論的には発展しつつあるが、現状は真反対の世界状況が現出している。裁判が平和的生存権を初めて認めたという画期的だが、1991年の「西条平和主張」から、時の日本政府が多国籍軍のイラクへ派兵で116億ドルを支援したのに対して、名古屋の467名が原告となり「平和的生存権」の損害をいって国に賠償を求めた事件があった。（略）安倍内閣が閣内決定

を法制化した「安保法制」では自衛隊の枠を超え、自衛隊の枠内を超えて、集団的自衛権の行使を許すという法制で、私たちはこの安保法制は「法的クイック・レスポンス」として25の訴訟が23の裁判所で継続した原告は全国合わせて7617人、弁護団は1865名、憲法9条の平和的生存権の侵害などでの訴訟を長い間継続し現在に至る。（略）※論点：議員時代での残念な思いは国会での「請

願権の空洞化が進んでおり最大の警戒が要する。騒擾事件だと言われている事件は、よく見れば官憲弾圧があるから、そういう状況になるのである。非暴力の歴史というものがなくも覆い隠されているのかというところを知りたい。

一つの訴訟を担当して各都府県から約50名の機動隊が沖縄の高江米軍ヘリパッド工事のため派遣された市民運動を統制するという役割で愛知から機動隊1

00名近くが派遣された。その事件の監視請求から第三審、最高裁と約7年くらいかかっている。沖縄の非暴力抵抗の伝統というものを初めて根底から知った。

第二審で逆転勝利し、徹底した高江村の現場における非暴力抵抗に対して、派遣された約50名の機動隊は県道を封鎖し、通行を妨害し集会を固め込み暴力を振るい基地正門で人々を突き落とし失神させ、様々な暴力行為をそれに対して裁判所は「デモの排除における暴力」として違法の疑いという判決だった。

そこで学んだ非暴力抵抗というものは非常に感動的な、伊江島の非暴力闘争です。阿波根根島（あはこんじょう）という方がガリソン、非暴力闘争を中心に伊江島の島民と戦ったこととです。（※阿波根根島の詳細は同書第6章参照）

激戦の後、1947年強制収容所から村人たちが自分

脱成長社会への道を拓く 脱植民地主義の運動

前号5面つづき

—死者とともに生きる世界に向かって【連載3】
斉藤日出治（大阪労働学校アソシエイト学長）

3 琉球から盗まれた遺物の返還を求め、昭和の初期に旧京都帝國大学医学部の人類学者金田丈夫が沖縄県今帰仁村の百按司家から遺物を盗奪した琉球民族の子孫がその遺物を返還するよう求めた琉球民族返還訴訟では、遺物を学術研究の対象としてその盗奪を正当化する論議が展開された。京都大学や研究機関、日本人類学会に対して、先住民の遺物を先住民に返還するべきことを主張している。この遺物を学術研究の対象としてその盗奪を正当化する論議が展開された。だが日本政府は、100年たつた遺物の返還を求めた琉球民族返還訴訟では、遺物を学術研究の対象としてその盗奪を正当化する論議が展開された。だが日本政府は、100年たつた遺物の返還を求めた琉球民族返還訴訟では、遺物を学術研究の対象としてその盗奪を正当化する論議が展開された。

花岡事件 野原道徳、宗教的精神と態度で折衝し、布令・布告などといった法外なやり方で、村民を集め米軍に交渉を始める。その交渉を始める際の「伊江島の陳情規定」というものを読み上げさせていた。

「それは、まず、
一、反米的にならないこと。
一、怒ったり愚言をいわないこと。
一、必要なら口外はみだりに米軍にしゃべらないこと。
一、正しい行動をとること。
一、ウソ偽りは絶対許さないこと。
一、会談のときは必ず座ること。
一、集合し米軍に挨拶すること。
一、モッコ、機銃、切切れその他を手に持たないこと。
一、耳より上に手を上げないこと。
一、米軍はわれわれが手をあげると暴力をふるうことについて写真をとる。
一、大きな声を出さず、静かに話を聞くこと。」

花岡事件 野原道徳、宗教的精神と態度で折衝し、布令・布告などといった法外なやり方で、村民を集め米軍に交渉を始める。その交渉を始める際の「伊江島の陳情規定」というものを読み上げていた。

「それは、まず、
一、反米的にならないこと。
一、怒ったり愚言をいわないこと。
一、必要なら口外はみだりに米軍にしゃべらないこと。
一、正しい行動をとること。
一、ウソ偽りは絶対許さないこと。
一、会談のときは必ず座ること。
一、集合し米軍に挨拶すること。
一、モッコ、機銃、切切れその他を手に持たないこと。
一、耳より上に手を上げないこと。
一、米軍はわれわれが手をあげると暴力をふるうことについて写真をとる。
一、大きな声を出さず、静かに話を聞くこと。」

全土に対して全行進を至った。私たちが米国のために食糧になったのだとあって沖縄全土を回ることで、その運動が島ぐるみの島地反対闘争へと発展して行く。

この陳情規定は、私が辺野古の海に座り込みに行った時にもビビって配られた。高江村の地に立つた時に大きな看板でこの陳情規定が書かれており隣に「平和的生存権を守る」という看板があった。

沖縄の人たちの闘いは様々なところでこの形骸が伝授されている。

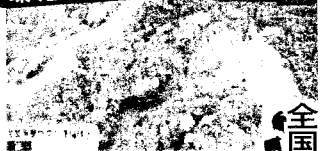
それを鑑み日本本土の闘いを、基地反対闘争などを見てみれば、裁判にそれらは伝授されています。私たちは戦後行なったライキ、労働運動にも継承されている。平和的生存権」というものは、非暴力抵抗には実現しない。

非暴力という手段で「平和的生存権」は強化し維持されていくという確信に

今日では「平和的生存権」は司法的には否定されようとしているが市民運動の中では「平和的生存権」を人権として非暴力闘争に結びつき、全世帯で連帯し今起きている戦争、起きようとする戦争の危機に対して私は反対をする。今こそその時ではないかと思うのが私の意見であり皆さんにも通達していただきたい。

（終）

環境問題 ★ 再考



毎日新聞の特集で、全国自治体の6割が大規模太陽発電でトラブルを拘えう最大の問題が、「土砂災害」で29府県、次いで「観測悪化」が28、「自然破壊」23に続く。

メガソーラーは広大な土地を必要とし、山肌を削ることが多くトラブル

全国でトラブル広げるメガソーラー

を招く。「メガソーラーが設置されても、固定資産税以外の税収は見込めず、その他発電のような雇用を生まない。さらにその電力売却や送電先は大手電力会社のみで、いさ非常に時に地域で活用も出来ない」との結論だ。

「土砂崩れ」「景観悪化」「自然破壊」のほかに超難題

その後に何う
メガソーラーを導入に
しても地域振興に寄与せ
ずその発電利益は、全て
外部吸い上げられる(種
民地型)ビジネスとなるだ
そればかりか20年もし
ないうちに雨수에晒され
たパネルが陸置ゴミとし
て山野に放置されるとの
可能性さえ。その撤去に
は地域住民の税金が無駄
な費用に何う

こんな問題滿載のメガ
ソーラー基地を住民に
事前にも一度も知らせず、
一挙に県内に引き込もう
として地元を潰滅させて
いるのが、奈良県初の維
新派として選出された知
事、山下真也(う)存在だ
。(次号以降この問題を追
う)

の事務局長や、伊江島土守を守る会の会長を務め、1995年から1996年2月にかけて沖縄本島で非暴力による「食行進」を行って米軍による土地強奪の不当性を訴へ、1996年夏の暑くみど期開争に大会を影響を与えた。

■(5面より) 大脇雅子さんプロフィール(19934年)
学部卒業、弁護士。元参議院議員。沖縄高江への愛護団長、弁護士として活動、公害問題や離婚等の裁判。92年P・K法廷闘争のなかで、砂川事件や判決の裁判こそ憲法保護の大義もまじと記され、社会説「現世」で「選」以後7期12年にわたる参議院議員を務め

えられている反戦思想家などは、國家が都合がよいがゆゑに繰り返し教えられるのかもしれない。

如安川
 中原ブックランド
 川崎市中原区小杉町3の1
 04547112346
 東京
 書景松戸
 千代田区神田神保町1の3
 03322950011
 横奈奈舎
 新宿区新宿2の4の9
 中江1丁目3階
 033335503557
 愛知
 豊川カルミア店
 豊橋市市田町西宿無差別
 豊橋二丁目カルミア
 05333333333
 岐阜
 丸井書店
 美濃加茂市太田町253の1
 0554252281
 香川
 讃州書局
 高松市松島町2の1の9
 08783415333
 福岡
 金峰堂
 福岡市中央区東区香江2の7
 092773126112
 沖縄
 ブックスピの3
 宜野湾市真裏2の3
 09888917241

■2024年夏 全ての日々がもはや未曾有の出来事の数々、誰の目にもわが国のみならず、世界での大きな潮流の激変を感ぜられているはずです。いよいよ醜態をさらす保守政変の連鎖へ向かう民衆の怒りのマクマが露わとなり今更ながら金みきった我が国の戦後であったとの事実が思い知らされます。

世界でもウクライナでの戦火、さらにイスラエルの蛮行も止まず…人類に向けられる脅威の度は増すばかりの今日、当紙は全国の闘いの場からの声に向き合いある時は励まし、来

大阪労働学校や社説意見広告運動を支援し、志ある人士と共に今後とも努力を続行して参ります。

ですが私たちの力はまだ微小です。経済的に窮乏する社会情勢下、皆様にお願ひするのが苦しいのはありますが、本年も夏のカンパをよろしくお願ひする次第であります。

皆様の支援により私たちの新しき未来への前進の爲お助け下さい。(カンパ送付先：一面石止住所を振替口座あり)

追記…定期購読料お振込みのこともよろしくお願ひいたします。

—「モン」編集機関紙局

江島から完全撤退させることであって、惜しいとは志半ばは他聞する（このころ100歳ま生きた）。

阿波浪の志は100年先を見据えた平和運動の展開であつた、運動はかりを見だした（言い難い）。

伊島浪言えはもはや反戦の星という暗いイメージは、

●阿波根島鴻（あはごんしやうこう）1909年（2002年）
さんは、日本の平和運動家。戦後米軍占領下の編で米軍強制下で地味に反対する反基地運動を主導した。全韓土地を奪う協賛

れ誰が壊すのか、そして
が生き残り誰が傳るのか、この
この残骸は戦争、人間だけ
はないあらゆる破壊を尽
す戦争、この戦争起す
間そ本当の悪魔にまゐ
した。そして、悪魔は他人
人間の犠牲の上に生きる
のことである。（本書P
185以下）

外務設を公約にして国會議議院に
なつたという事である。
公職たる国会議員ですら
かくも容易に牛刀に肝するの
である。
本書を統めはより一層はよ
きとするのは、国会議員は余
りな懸けていないといふこと
である。
教科書で教えられる反動
活動家は死後10年過ぎれば
地元ですら忘れ去られるに
なる。

都知事選 重い宿題 残し終え
石丸のこんな程度がすくにはレ
全回致怒りの島だ 沖繩は
自衛隊 二んな程度が 国守る
あまりにも愚劣戦争原発資本主義

群馬 ●三光堂書店
伊勢崎市大手町2の15
0270(0)62347

●ウニタ書店
名古屋市中津区今池1の6
の13 今池スタービル
052(73)11380

2024年夏季カンパのお願い

るべき眞当なる社会実現に向け役立つ理論情報紙たるべく毎

を賣られて、自然に地域の代
表者として民意を糾合してい
あったからである。

を否認した。

乱鬼龍

西沢江美子（農業ジャーナリスト）

[illegible]

「それは何も悪いことをしてない。どうして働くことを認められなかったのか。私が仕事を辞めた夫婦と食へられないなら、年金では一人暮らしていける。」

「店主の娘は私のこともある市内につかない個人小売業のリーニング店が閉店した。大きな洗物はどうしたのか。この間が医務院に上乗せして取り立てる手続き援助が動き出さへ。」

「当の寄附者はロロロ、ロロロ、ロロロ。」

声は小ざとも一免許証を返せ「生業を奪うな」道徳堂々と手かせた。「……でも私は怒って。」

のうへに述べたように、陽明の皇
王と政治について、陽明の皇
王としての米軍用兵として接収
されたところ、本書は、米軍と
豊前・豊後の土地を巡る闘争の歴史
であり、阿波・讃岐の農民は、文
字通り命を懸けた農民闘争をや
つてながら、先祖伝来の土地
を奪回していく。

村の多くがを食ひて行
進した時は、今でも知らず
知る逸話がある。阿波・讃岐は、
その中で私
たちはさら
に考えまし
な。なほ私たちがのよう

紀伊半島の領土したところ
あらうから
まだ50年
経ていな
い。

黒い塊

も国體は消され口は滅びの道であつたのか？若し現代に期待したい。(・油滴N)

●維新志士吉村が大阪博覧会までトチ上げてきた。空飛ぶタシロ」だが彼を片持ち上げれば来たマヌシが一切ルードだトロ」と言はず、空飛ぶ」とな謀策ネーシングで空想裡に仕立てて航空機關助成金をかき集めた来たのだがこの産業革命を立てるに航空事業として、〇028日サセルズ五輪での予備的な定期運行を指導す段階としかないのだ。こんな初歩のざる情報さえ知らない。知らないアをする。(・関西マスコミの犯罪的犬糞スリート)ではせむとも糾弾されるねはない。(関西M)

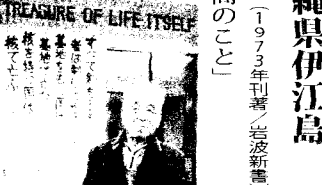
その店主がある日長い坂の上の私のとてに惣を切らせ出上りたがった洗糧物を湧けに来た。

どうしたの？「自転車転がってきた。ひどいんだ、バイクの免許許されてしまった」「誰か？」驚愕だ。9歳近いのにバイクの免許は危険だとして、店主は國賓として、理由はわからぬが、警察にまで公でその挙句免許を預けしまったらしいバイクは廃棄になった。

店主は認知症でやと留守番しなまなきに妻と二人暮らし、2人も「集団就職世代」住み込みでリーニング業の商売を取て店を持ち、子どもを育て、やつと懇請いた。老後はどうして助かってリーニング業没後を過すてしていた先夫

「悪魔とは他の人間の犠牲の上に生きる
— 沖縄非暴力抵抗運動のバイブル的一書 —」

阿波根 米軍と農民



編集室から

●6月中旬、職場で傳れて入院歴となつた。生半端ではじめての「入院生活」で、そこで働いて看護師などの労働実態を文字通り肌身で感ずるの体験として、「健康」「疼痛」「医療費」などのことをリアルに伝えさせた。退院して、月29日（土）も多岐間事件から10年を集めて埼玉に公開。そして、今、東京都知事選挙の、現場ウォッチングなどで徐々にも公開をすすげてきた。今、時代が極めて「反動化」してきている。我々は何をすべきか。風。

●連続議員連、東京都知事選挙結果に激然とした。これだけ自民党勢の不祥や、堤順一郎の7割低大約の成功率が古く東西政治家を、僅かに解散した国は減る。いさうの、有権者の想い

頼んでいた
その店主

米軍と農民
— 沖縄県伊江島 —

阿波根昌鴻（1973年刊著／岩波新書）

編集室から

●6月中旬、職場で倒れて入院騒ぎとなった。生まれてはじめての

コモンスズ川柳

柳

コムズ取扱店

拔店